



教えて！  
教育長さん

**もっと！ESD！！**

～子どもたちの未来のために  
「持続可能な社会」を～ **18**

ESDに取り組む学校・幼稚園の紹介をします。今回は唐桑幼稚園です。

唐桑幼稚園では、「唐桑・気仙沼大好き！」をテーマに、身近な環境に触れながら、さまざまな体験や発見を通して地域の良さに気づき、遊びや生活の中で唐桑・気仙沼の人やもの、自然を大切にしようとする心を育む体験活動を行っています。唐桑・気仙沼の豊かな環境の中で、さまざまな体験を積み重ねることで、「これはどうなるの？」「これからどうなるの？」「もっと知りたい」「やってみたい」という意欲や気付きを引き出すことにつながっています。

**唐桑幼稚園**

- 園児数 19名
- ・年少組……5名
- ・年中組……7名
- ・年長組……7名

**海と親しむ活動(海洋教育の推進)**

本園のすぐ近くには“馬場の浜”があり、波の音や潮の香りを感じながら、友達と一緒にシーグラスや貝殻、小石などを見付けたり、潮だまりでの生き物観察や岩登りなどを楽しんだりしています。子どもたちにとって海で見付けたものは宝物です。その宝物を活用し、保護者と一緒に楽器や玩具作りをしたことで、作る楽しさや海での楽しかった思いを共有することができました。市内幼稚園の友達との海洋交流会では、多くの生き物を見たり、触れたりしたことで海への興味や関心が更に高まりました。

また、海に関する施設や工場の見学、海上保安庁による海洋教室に参加したことで、自分なりに気付いたことや不思議に思ったことを質問して、自分たちにもできることを知ることができました。そして、そこで働く人たちの姿を垣間見たことで「あれやってみよう」と、海に関する仕事への憧れの気持ちにもつながりました。



「ここにも貝殻付けよう！」親子で玩具作り 「カニ、見てみよう！」市内4園での海洋交流会 「貝や魚がいっぱいだね！」海の市を見学

**栽培活動を通して(食育の推進)**

年長児が中心となり、自分たちがどんな野菜を育てたいのか、食べてみたいのかを考えて、プランターでの野菜の栽培を行っています。ジャガイモの種イモ植えから始め、夏野菜、冬野菜の苗植えや種まきをし、毎日の水やりと観察で少しずつ生長し変化していく野菜の様子を友達と楽しそうに教え合う様子が見られます。「はやく食べたいね！」と食べることを楽しみにする子どもや野菜が苦手な子どもなどさまざまですが、自分たちが育てた野菜という思いが、“残さないで食べよう”“嫌いだけど少し食べてみようかな”という気持ちにつながってきています。苦手な子どもは少しでも“食べられた！”という達成感や充実感を味わうことで、いろいろなことに挑戦しようとする意欲や自信にもつながっています。

また、サツマイモ畑の先生のご指導のもと、苗植えと収穫を体験させていただいています。収穫したサツマイモは焼き芋にして食べ、つるはクリスマスリースにしてお世話になった地域の人たちに届けています。地域の方々のご協力をいただきながら、さまざまなつながりを大切にしています。



「こうやって植えるんだよ」教えてもらいながら苗を植えました 「よいしょ！よいしょ！」サツマイモの収穫 「何個できたかな？」収穫したトマトを数えている様子